



※この展覧会の図録は完売いたしました。



## 第4回特別展

# びいどろ・ぎやまん —清涼な異国趣味—

日本でのガラスの歴史は古いが、広く知られるようになるのは江戸時代中ごろ以降である。近世初頭の長崎で始まったガラス器の製作は、その後、各地で行われるようになった。人びとは、ガラス器を「びいどろ」「ぎやまん」と呼び、珍重し、絵や文学にも登場させた。この特別展では、江戸時代に日本でつくられたガラス器や、浮世絵や図書など関連資料を展示し、異国趣味のひろがりを探った。

会期／昭和58年8月2日（火）～9月4日（日）

会場／南蛮美術館

主催／神戸市立博物館、神戸市教育委員会

監修／棚橋淳二

開館日数／30日

入館者数／20,644人

出品件数／151件199点

グラヴィールV.O.C.マーク入り吊彩絵紅毛人文角瓶  
り行灯